

盛岡発

コミック本の売り上げを寄付

被災した子どもたちの学びに役立ててもらおうと、「Gu-Guガンモ」などの作品で知られる漫画家の細野不二彦さんや出版関係者、合わせて6人らが県庁を訪れ1000万円を寄付しました。細野さんたちは震災後東北支援プロジェクトを立ち上げ今年4月にコミック「ヒーローズ・カムバック」を発売しました。9人の漫画家が震災と復興支援をテーマにかつての人気キャラクターを復活させた内容で、その売り上げから1000万円が「いわて学びの希望基金」に贈られました。
(9/26 ニュースエコー)



大船渡発

国際コンテナ航路復活

東日本大震災により休止していた大船渡港の国際コンテナ航路が復活し、待望のコンテナ船が野々田埠頭に入港しました。輸出に使う20フィートコンテナ8本を積んで入港したのは、静岡県に本社を置く「鈴与海運」の内航コンテナ船、清浜丸です。今回は海運大手の「ケイラインジャパン」の協力で世界各国へと結ばれる航路が開通されました。大船渡港ではアメリカ・カリフォルニア州のロングビーチへ運ぶ機械類が積み込まれ、京浜港で外航コンテナ船に積み替えられます。この定期航路は毎週土曜日に大船渡港に寄港 予定です。
(9/30 ニュースエコー)



宮古発

図書館リニューアルオープン

津波により被災した田老公民館内の宮古市立図書館・田老分室の復旧工事が終わり、リニューアルオープンしました。図書館は、津波によって床上15センチほどが浸水。3000冊余りの本が使えなくなりましたが、復旧工事で床や壁・書庫などが一新されました。きょうは、絵本パフォーマー岸田典大さんによる読み聞かせも披露され、地元の子供たちは、本の楽しさを実感していました。(10/1 ニュースエコー)



山田発

復興整備事業スタート

(写真は工事の安全祈願祭の様子)



山田町の中心部で高台移転と区画整理を柱にした復興事業がスタートしました。町の中心部が津波によって失われた山田町では海沿いの住まい413戸を町内三箇所の高台に移転する防災集団移転促進事業と、JR山田駅を中心とした20.

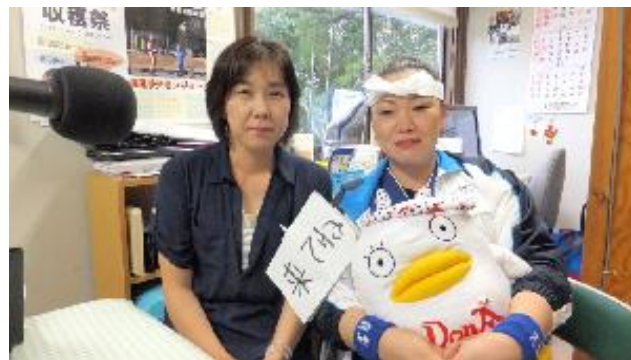
3ヘクタールをおよそ3メートル嵩上げする土地区画整理事業がそれぞれ行なわれます。公共施設、商業地の拠点整備も含めた大規模な山田町中心部の復興事業は、5年後の平成30年度に完成予定で、早いところでは2年後の平成27年度からの住宅建設を目標に工事が進められます。

(10/2 ニュースエコー)

陸前高田発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内毎週水曜日放送)



今週は陸前高田災害FMの阿部裕美さんが、10月20(日)に開催される「全国太鼓フェスティバル」について、実行委員会・運営委員長の小野寺麻貴さんをスタジオに招いて伝えてくれました。今回で25回目となるこの大会には、地元の4団体のほか、全国から11団体が出場するという事です。小野寺さんは「震災の年は名古屋ドームに会場を移して開催し、たくさんの方から励ましや支援をいただきました。高田での太鼓フェスティバルは震災後2回目となりますが、今年もぜひ大勢の方に来ていただき、迫力ある太鼓の鼓動を楽しんでもらいたい。」と話していました。(10/2)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122